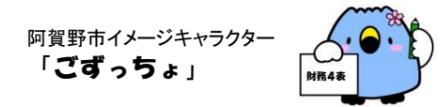


令和4年度 阿賀野市の財務書類（概要版）



令和4年度決算について、統一的な基準に基づく財務書類を作成しました。

※「一般会計等財務書類」は一般会計のみ、「全体財務書類」は一般会計等に特別会計・企業会計など地方公営事業会計を加えたもの、「連結財務書類」は全会計に一部事務組合など市の関連団体を加えたものになります。

貸借対照表 (BS)

令和4年度末(令和5年3月31日)時点における資産と、その資産形成に必要な財源である負債及び純資産を表したものです。資産に対する将来世代の負担(負債)と過去及び現役世代の負担(純資産)の割合を把握することができます。

一般会計等では、資産は約650億円となっており、そのうち有形固定資産が81.8%を占め、約532億円となっています。負債は約242億円となっており、資産のうち37.3%が将来世代の負担であることを表しています。純資産は約408億円となっており、資産のうち62.7%が過去及び現役世代の負担であることを表しています。

(単位:百万円)

	一般会計等	全体	連結		一般会計等	全体	連結
1. 固定資産	60,679	115,440	116,536	1. 固定負債	21,803	68,525	68,960
(1) 有形固定資産	53,197	105,944	106,944	(1) 地方債	17,639	42,257	42,632
① 事業用資産	28,326	33,830	34,824	(2) 退職手当引当金	4,163	4,725	4,786
② インフラ資産	24,487	69,012	69,017	(3) その他	0	21,542	21,543
③ 物品	384	3,102	3,103	2. 流動負債	2,446	4,649	4,693
(2) 無形固定資産	96	1,347	1,347	(1) 1年内償還予定	2,097	3,868	3,906
(3) 投資その他資産	7,386	8,150	8,244	地方債			
2. 流動資産	4,339	6,524	6,814	(2) 賞与等引当金	234	264	269
(1) 現金預金	1,474	3,458	3,539	(3) その他	115	517	517
(2) 基金	2,829	2,829	3,038	負債合計	24,249	73,174	73,654
(3) その他	37	237	237	純資産合計	40,769	48,790	49,696
資産合計	65,018	121,964	123,349	負債・純資産合計	65,018	121,964	123,349

行政コスト計算書 (PL)

令和4年度中の資産形成に結びつかない行政活動に要した費用と、使用料等の収入の関係を表したものです。官庁会計では捕捉できなかった現金支出を伴わない費用(減価償却費など)も計上しています。

一般会計等では、費用から収入を除いた純行政コストは約195億円となっています。

(単位:百万円)

	一般会計等	全体	連結
経常費用	20,370	31,069	34,456
1. 業務費用	10,713	14,479	14,649
(1) 人件費	3,485	3,885	3,643
(2) 物件費等	6,986	9,908	10,232
(3) その他業務費用	242	687	773
2. 移転費用	9,657	16,590	19,807
経常収益	893	2,718	2,770
純経常行政コスト	19,477	28,351	31,686
臨時損失	1	2	2
臨時利益	0	12	12
純行政コスト	19,478	28,341	31,675

純資産変動計算書 (NW)

令和4年度中の純資産の変動要因を表したものです。純資産の増加は現役世代の負担によって将来世代の負担が減少したことを表し、純資産の減少は反対に将来世代の負担が増加したことを表します。

一般会計等では、純資産は約29億円増加し、本年度末残高は約408億円となっています。

(単位:百万円)

	一般会計等	全体	連結
前年度末純資産残高	37,856	45,674	47,465
1. 純行政コスト(△)	△ 19,478	△ 28,341	△ 31,675
2. 財源	20,609	29,675	33,148
(1) 税収等	14,431	18,375	19,829
(2) 国県等補助金	6,178	11,300	13,319
本年度差額	1,131	1,334	1,473
その他 (無償所管換等)	1,782	1,782	758
本年度純資産変動額	2,913	3,116	2,230
本年度末純資産残高	40,769	48,791	49,696

資金収支計算書 (CF)

令和4年度中の資金の動きを業務活動収支、投資活動収支、財務活動収支の3つの区分で表したものです。なお、歳計外現金は本表の欄外に表示します。

一般会計等では、資金は約0.6億円減少し、歳計外現金を合わせた本年度末現金預金残高は約14億円となっています。

(単位:百万円)

	一般会計等	全体	連結
業務活動収支	2,434	4,189	4,314
投資活動収支	△ 1,447	△ 2,147	△ 2,407
財務活動収支	△ 993	△ 1,900	△ 1,861
本年度資金収支額	△ 6	143	47
前年度末資金残高	1,367	3,202	3,370
本年度末資金残高	1,361	3,345	3,425
本年度末歳計外 現金残高	113	113	113
本年度末現金預金 残高	1,474	3,458	3,539

●市民1人あたりで計算してみると…

※住民基本台帳人口:40,353人(令和5年1月1日時点)

貸借対照表 (BS)

(単位:千円)

	一般	全体	連結		一般	全体	連結
資産	1,611	3,022	3,057	負債	601	1,813	1,825
				純資産	1,010	1,209	1,232
資産合計	1,611	3,022	3,057	負債・純資産合計	1,611	3,022	3,057

行政コスト計算書 (PL)

(単位:千円)

	一般	全体	連結
経常費用	505	770	854
経常収益	22	67	69
純経常行政コスト	483	703	785
純行政コスト	483	702	785

純資産変動計算書 (NW)

(単位:千円)

	一般	全体	連結
前年度末純資産残高	938	1,132	1,176
本年度純資産変動額	72	77	55
本年度末純資産残高	1,010	1,209	1,232

一般会計等では…

- ・貸借対照表
1人あたりの資産は約161万円、負債は約60万円となっています。
- ・行政コスト計算書
1人あたりの純行政コストは約48万円となっています。
- ・純資産変動計算書
1人あたりの純資産は約94万円となっています。
- ・資金収支計算書
1人あたりの現金預金は約4万円となっています。

資金収支計算書 (CF)

(単位:千円)

	一般	全体	連結
本年度資金収支額	0	4	1
前年度末資金残高	34	79	84
本年度末資金残高	34	83	85
本年度末現金預金残高	37	86	88

※表中、表示単位未満は四捨五入のため、合計が一致しない場合があります。